

かみかすや わだうち  
上粕屋・和田内遺跡第6次調査

伊勢原市 No.206 遺跡



1. 2区 K1・2号溝



2. 5区 C1号墓



3. 5区 H5号住居床面



4. 5区 J3号住居床面

● 主な調査成果

調査区が5つに分かれており、便宜的に西から東に向かって1区から5区と呼称しています。全ての調査区は斜面～緩斜面地形に位置しています。

近世の遺構と遺物は、全区で検出しました。遺構は、段切りやそれに伴う溝状遺構、土坑などで、土地を改変し、作出した平坦面を耕作地として利用したと思われます。

中世の遺構と遺物は、遺跡の南東部に位置する3～5区で検出しました。最も東側にある5区では中世のお墓を検出しています。この付近は明治期に廃寺となった極楽寺があったとされる場所に近いことから、これらとの関連を想定しています。

古墳時代～奈良・平安時代では、9軒の住居址を検出しています。

縄文時代では4軒の住居址を検出しています。うち2軒は敷居住居址です。4軒の帰属時期は出土遺物から縄文時代後期に相当します。

- 調査期間 2016年2月16日～2016年7月31日  
2019年11月1日～2020年8月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安～古墳、縄文
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの一ノ郷南から和田内にかけての台地上

